

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	地区公民館運営活動助成事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 2 目	事業番号	4750	所属長名	泉一人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	石崎恵美	
法令根拠等	伊予市公民館運営委員会活動補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 生涯にわたり学習できる環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	地域社会のニーズに合った特色ある公民館活動の推進						
事業の対象	各地区公民館運営委員会			事業の目的	公民館が行う各種事業の企画実施や必要な事項について調査協議を行うために設置されている各地区公民館運営委員会の、円滑な活動の実施と育成に資する。		
事業の内容 (整備内容)	各地区公民館運営委員会の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	247	480	0	0	0	218	補助金交付運営委員会数	館	5	6	5	5
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	運営委員会開催回数	回	8	12	6	8
一般財源	247	480	0	0	0	218						
職員の人工(にんく)数	1.04	1.21				1.21						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	8,371	9,968				9,706						
主な実施主体	直接実施(会計年度職員6人を含む)		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					480	480	480	480	480	2,400		
成果指標	指標	運営委員会開催回数	単位	回	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	地域に根ざした公民館活動を推進するため、事業の企画・実施や調査・協議を行う回数とする		目標		12	12	12	12			
	指標で表せない効果	地域の特色を生かし、地域住民が求める活動を実施することが求められる事業であり、定量的なもので示すことができない部分がある。		実績		8	8					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		昨年度に引き続きコロナ禍のため、参集での会議の開催が困難な時期があった。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	C	事業成果・工夫した点	参集が難しい時期の会議については、書面開催で対応した。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	2					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	2					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	2					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	2			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 各地区公民館の運営については、地域特性を生かした住民目線の取組が必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
評価	所属長	効率性	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B	所屬長の課題認識	コロナ禍ではあるが、各地域で必要な事項について、調査・研究を行う必要がある。	

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 【低評価事業】	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を理由に行事を取りやめるだけでなく、引き続き、今できることを考えて工夫しながら実施してもらいたい。 ・かなりのマンパワーを割いての事業であるため、引き続き尽力してもらいたい。 ・公民館同士の情報共有化に力を入れてもらいたい。 ・運営委員の構成メンバーが地元の人を中心としているため、発想がその域を出ないのだろう。公民館活動を活性化するため、外部からアドバイザーに入ってもらうなど、違う視点が必要である。
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄 それぞれの公民館が独自性のある活動をしていくためにも、外部アドバイザーの参画について検討すること。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	